

令和2年度第1回 小松市地域公共交通活性化協議会会議録

○日 時：令和2年7月20日（月）14:00～15:00

○場 所：小松市公会堂4階大会議室

○出席者：

区分	職名	氏名	備考	出欠
住民又は 利用者の代表	小松商工会議所 空港・都市政策委員会委員長	今出 真稔	代理出席	○
	小松市町内会連合会会計	北川 潔	監事（新）	○
	小松市老人クラブ連合会会長	餘助 幸一	（新）	○
	小松市校下女性協議会会長	西田 頼子		○
	加賀地区高等学校校長会会長	室 陽子		×
	小松市障害者自立支援協議会事務局	鈴木 淑	（新）	○
国及び県の関係 行政機関の職員	国土交通省北陸信越運輸局 交通企画課長	佐々木 凜太郎		○
	国土交通省北陸信越運輸局 石川運輸支局 主席運輸企画専門官	木村 幸典	（新）	○
	石川県新幹線・交通対策監室交通政策課 課長補佐	福野 陽子		×
	石川県南加賀土木総合事務所 維持管理課長	野口 真	（新）	○
	石川県小松警察署 交通課長	福田 博	（新）	○
旅客自動車運送 事業者及びその 関係団体の職員	小松バス(株)取締役社長	新谷 良二	（新）	○
	加賀白山バス(株)代表取締役社長	田口 成樹	（新）	○
	日本海観光バス(株)総務部長	西出 揮一郎	（新）	○
	小松地区タクシー協会会長	道端 隆一		○
旅客自動車運送 事業者の事業用 自動車の運転者 が組織する団体	小松バス労働組合 執行委員長	藪谷 清志		×
市職員	小松市副市長	竹村 信一	会長	○
	小松市都市創造部長	石田 賢司	代理出席	○
	小松市教育委員会教育次長	吉田 和広	（新）	○
市長が必要と 認める者	公立小松大学 国際文化交流学部准教授	中子 富貴子	副会長	×
	西日本旅客鉄道(株) 金沢支社交通企画室長	鹿野 剛士	代理出席	○
	日野自動車(株) 商業 CASE 推進部執行職	松山 耕輔	（新）	×
	石川県レンタカー協会 常務理事	野村 光洋		○
	（一社）こまつ観光物産ネットワーク 専務理事兼事務局長	吉田 達也		○

区分	職名	氏名	備考	出欠
事務局	小松市市民共創部長	前多 陽子		○
	小松市市民共創部次長 兼はつらつ協働課課長	横山 昭博		○
	小松市はつらつ協働課主幹	西本 達郎		○
	小松市はつらつ協働課	渡辺 雄也		○

○会議次第

1. 開会挨拶 会長 竹村 信一
2. 委員紹介
3. 協議事項
 - (1) (仮称) こまつ地域交通プランの策定について
 - ①地域特性、地域交通の現状及び上位計画・関連計画の整理について
 - ②市民アンケート調査(案)について
 - ③利用者・交通事業者ヒアリング(案)について
 - ④今後のスケジュールについて
 - (2) 令和2年度地域公共交通確保維持改善事業について
 - (3) 令和2年度小松市地域公共交通活性化協議会歳入歳出予算(案)
4. その他

【会議録】

1. 開会挨拶

事務局：ただ今から、令和2年度第1回小松市地域公共交通活性化協議会を開催致します。

本日はご多用のところ、ご出席いただきまして誠にありがとうございます。開会にあたりまして、竹村会長よりご挨拶をいただきます。

会 長：(挨拶)

事務局：ありがとうございました。次に、今回より新たに委員となられた方がいらっしゃいますのでご紹介させていただきます。お手元の委員名簿をご覧ください。

(委員名簿により紹介)

本日24名中19名の委員の皆様にご出席いただいております。規約第8条第2項により、会議が成立していることをご報告致します。それでは規約により、会長が本会議の議長となり、会議を総務する事となっておりますので、以降の進行につきましては会長にお願いしたいと思います。竹村会長、よろしくお願い致します。

2. 協議事項

(1) (仮称) こまつ地域交通プランの策定について

- ①地域特性、地域交通の現状及び上位計画・関連計画の整理について
- ②市民アンケート調査（案）について
- ③利用者・交通事業者ヒアリング（案）について
- ④今後のスケジュールについて

議長：それでは早速議題に入らせていただきたいと思います。議案第1、「(仮称) こまつ地域交通プラン」の策定について事務局より説明をお願い致します。

事務局：(説明)

議長：ただ今の事務局の説明に対して、何かご質問等ございましたらお願いします。

北川：今回実施するアンケートは、バス路線を縮小するために行うものではないですね。

事務局：今回のアンケートでは、現状、どのような目的で外出されているか、それに対してどのような交通手段を使ってらっしゃるか、そしてどのような点で困っていらっしゃるかということをお聞きします。会議の冒頭で利用が少ない路線、もしくは採算性が低い路線について話をしましたけれど、バス路線の縮小を目的としたアンケートではありません。

北川：バスに乗ってもらうための方策が足りないように思います。例えば小松イオンの無料送迎バスが小松駅からだいたい1時間に2本運行していますが、無料ということもあって多くの乗客がいます。しかしそれはやはり目的があって乗っているわけですし、逆に言うと、小松市の様々なイベントでも、例えばバスでしか来られない区域を設ける等の対応も考えないといけないのではないのでしょうか。まず、それが我々の交通システムというものを守っていくというか、我々が意識しないといけないことだと思います。

事務局：ありがとうございます。

冒頭に申し上げました、基幹となる路線はしっかり維持していこうというのが小松市の姿勢です。そのためにらく賃パスポートの発行など、特に多く利用していただいている高校生や高齢者の方にとってバスを利用しやすい環境をしっかりと作っているという状況です。ただ、バス会社に対しても補助をしっかりと行いながら、こうしてバス路線を維持しているのですが、昨今は運転手不足という問題がございます。そのためバス路線をなかなか大きく広げられないという、もどかしい現実もございます。そうした中で、今回しっかりアンケート調査を行い、どんなところに課題があるかということをしっかり把握したいと思っています。先日も各高等学校を訪問した際に、バスを利用したい時間と運行時間が合っていないという意見もいただいておりますので、ヒアリングなども行い、アンケート結果もしっかり分析した上で、交通プランの策定を進めていきたいと考えています。

佐々木：国土交通省北陸信越運輸局の佐々木でございます。私からいくつか申し上げたいと思っているのですが、まずその前に、本日私からお配りした資料のご説明を致します。

(説明)

手短に説明しましたが、ご不明な点がありましたらご質問いただければと思います。その上で、今小松市よりご説明があった内容についていくつかコメントさせていただければと思います。ただ、私から色々申し上げますが、先ほど申し上げましたように、交通プランの策定に当たってはこの協議会でしっかり議論することが大切です。資料も事前に配られていると思いますので、是非今回もそうですし、次回以降も構成委員の皆さんで活発な議論がなされることをお願いしたいと思っていますが、口火を切るという意味で、まずは私からいくつか申し上げたいと思います。

まず、交通プラン案の13ページ以降で上位関連計画の整理ということで色々書いて下さっています。整理されるのはこれで良いと思いますが、ここでなくてもいいですので、整理した結果としてどうするのかということをしかり、後々の基本方針や目標のところで書いていただきたいと思います。本当は上位関連計画の整理のところまで導き出されるのが理想なのですが、追々の作業として考えていただきたいというのが1点でございます。

2点目ですけれども、交通プラン案の28、29ページの内容とスケジュール案を見比べてみると、市民アンケートと利用者ヒアリングを元に9月の第3回協議会を開催するとスケジュール案に記載されています。一方で、交通プラン案の29ページには、10月にも市民へのヒアリングを行うと記載されていて、協議会のスケジュールとどのように対応するのかを教えてくださいたいと思います。ただ、間に合うのであれば、10月に予定されているヒアリングの結果も第3回協議会で出した方がいいのではないのかと思います。

3点目は少し細かいですがアンケートの件です。アンケートを取るということで、中身も市民の方に問題意識を書いてもらったり、行政負担について記載してあったり、分かりやすく作成していただいていると思っています。アンケートの配り方も非常に工夫していただいているので、ありがたいと思っています。書き手の立場に立つと、量が多いかなという印象を受けます。今からでも可能であれば、記入が過剰な部分は見直していただければと思います。例えばらく賃パスポートを持っている人であれば、利用目的が通学だろうと、買い物、通院、趣味娯楽だろうと、バスであれば支払い時にはそれを提示するのだからだろうと思いますし、行先にしても市町名、施設名、具体的にというところとなると、選択肢案と見比べると若干目がチカチカするかなと思いました。また、角つき括弧と丸括弧で数字に分けているのも分かりやすいのですが、3ページ目の「ふだんの移動おける交通手段」などは、「いつも」の角つき括弧に、選択肢の記号ではなく「バス」と書く人もいそうだと思います。そういう点では集計の際に少し大変ではないかなと思いますし、回答者は無償で回答するのですから、なるべく負担の少ない形で回答していただけると良いのではないかと思います。

事務局：ありがとうございます。

1 点目の上位関連計画から導かれる方向性等につきましては、今後の基本的な方針や、施策づくりの中でしっかり反映していきたいと思えます。

2 点目のヒアリングの時期と協議会の日程に関するご指摘につきましては、できる限り次回の第3回協議会までにヒアリングを進めていきたいと思えます。私どもは地域に出かけていく機会が多い部署でありますので、町内会や地域の協議会等との協議も常に行っておりますので、10月まで待つということではなく、次回協議会資料にはできるかぎり結果を整理して反映したいと思えます。

3 点目のアンケートにつきましては、学校では先生方に回答方法をご説明し、生徒が回答する際には書き方についてサポートしてもらえるようお願いして参りました。高齢者の方にとっては少し書きづらい部分があるかと思えますが、ご回答いただいた中からこちらで分かる範囲で分析を行いたいと思っております。できる限りらく賃パスポートだけを用いる普通の通勤通学以外に、どんなところへ買い物に行くのかということもお聞きしたいので、幅広い問いになっております。今のところはお協力いただける範囲で利用者の方には回答していただきたいと思っておりますので、このような形で行えればと思っております。

議長：他にございませんか。特にないようですので、拍手をもって承認したいと思います。

(拍手)

議長：ありがとうございます。

それでは次に議題2の「令和2年度地域公共交通確保維持改善事業」について説明願います。

事務局：(説明)

議長：ただ今の説明につきまして、ご質問等ございませんか。特にないようですので、拍手をもって承認したいと思います。

(拍手)

ありがとうございます。

続きまして議題3、「令和2年度小松市地域公共交通活性化協議会歳入歳出予算(案)」について説明願います。

事務局：(説明)

議長：ただ今の説明につきまして、ご質問等ございませんか。特にないようでしたら、拍手をもって承認したいと思います。

(拍手)

ありがとうございました。他に報告事項はありますでしょうか。ないようでしたら、以上で全ての議題が終了しましたので、事務局に進行をお返しします。

事務局:以上をもちまして、令和2年度第1回小松市地域公共交通活性化協議会を終了致します。